

6年生「お子さまの電子機器の使用について」アンケート結果

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。集計結果および、保護者の皆様から寄せられた具体的な詳細なご意見・ご家庭でのリアルなルールや懸念事項を整理して掲載いたします。

☑ 利用状況・ルール・各種制限の概要（6年生・実データ）

【端末利用形態】	【ルール・安全対策】	【ゲームの利用・詳細】	【YouTube・SNS 制限】
契約スマホ利用 46.4% (13 件) 保護者端末を必要時： 17.9% (5 件) キッズケータイ利用： 14.3% (4 件) Wi-Fi 古い端末/タブ： 14.3% (4 件) 利用させていない 7.1% (2 件)	家庭でルールあり 80.8% (21 件) ロック番号共有 80.8% (21 件) スマホフィルタリング 57.7% (15 件) 契約買い与え： 50.0% (13 件) ゲーム自動制限設定： 57.1% (16 件)	ゲーム利用率 96.4% (27 件) 利用頻度 ・ほぼ毎日 46.4% (13 件) ・週 1～6 日 39.3% (11 件) ・ほとんどしない 10.7% (3 件) 1 日の時間 ・1 時間以内 42.9% (12 件) ・2 時間以内 35.7% (10 件) ・3 時間以上 14.3% (4 件)	YouTube 視聴・制限 ・年齢制限あり 46.2% (12 件) ・テレビ等で視聴 23.1% (6 件) ・制限なし 23.1% (6 件) ・視聴させていない 7.7% (2 件) SNS 制限設定 ・SNS 利用なし 61.5% (16 件) ・制限あり 23.1% (6 件) ・制限なし 15.4% (4 件)

☑ お子さまと決めたルールや工夫（回答から抽出した具体的なご家庭の声）

- ・宿題や習い事など、やるべきことが全て終わってから利用する。使用時間は平日 1 時間・休日 1 時間半～2 時間まで（ゲーム含む）。20:30～21:00 以降や夜間の使用は禁止し、ファミリーリンク等のアプリで時間制限・自動ロックを設定している。
- ・スマホやタブレットの利用は「リビング（保護者の目の届く場所）」のみとする。寝室や自室への持ち込みは禁止し、就寝時の夜間利用を防ぐ。
- ・アプリの取得・インストール・ゲーム課金は勝手にせず必ず親の許可を得る。パスコードやロック番号は親と共有し、取得アプリ・通信履歴・利用状況は親がいつでも見られる状態（中身を確認できる）にしておく。
- ・LINE や連絡の取り合いは親が把握している特定の人（個人）のみとし、知らない人と繋がらない。SNS 類は友達以外とのやり取り禁止。人を傷つける言葉・悪口を打った場合は即スマホを取り上げるお約束にしている。
- ・キッズケータイ（通話・SMS のみ・カメラなし設定等）を活用し、事前登録した相手とのみ連絡。新たに友達の番号を登録する際は勝手に追加せず保護者が設定を行う。
- ・学校持ち帰りのタブレットで動画を見る時は難聴防止のためイヤホンを使用しない。ごく短時間（10 分程度）ごとに休憩を挟み、画面と目の距離を離して明るい部屋で使用する。
- ・基本は習い事や外出時の連絡用とし、自宅外でのインターネット接続制限や保護者設定容量を超えた場合は自分のお小遣いから支払うルールを設けている。

☒ 心配していること・困っていること（回答から抽出した具体的なお家庭の声）

- ・【学校持ち帰りタブレットの管理】学校から持ち帰る一人一台端末で使用制限がないため、家庭ですっと動画を見続けてしまう。注意してやめさせてはいるが管理に苦慮している。
- ・【時間超過・夜間使用・コントロール難】一度使用を始めると動画やゲームに夢中になり、なかなかやめない。親が見ていないと制限時間を超えたり寝る直前まで使用してしまう。時間を守れない・話を聞かなくなる。
- ・【ルール設定・運用の難しさ】最初に明確なルールを決めなかったため曖昧になり、ルールが無いような状態になってしまっている。隙あらば利用時間を増やそうとしてくる。
- ・【友達関係・親の知らない場所での利用】本人はスマホを持たせていないが、周りに持つ子が増えて欲しがることや、親の知らないところで友達の端末を借りて利用している様子があり懸念している。
- ・【電子機器依存・自律性の欠如】タブレットやゲームがないと「暇そうにしている」ことが多く、デジタル以外で自分から楽しいことや夢中になれることを見つける力を育んでほしいという思いがある。
- ・【身体面・健康への影響】スマホと目の距離が近すぎることによる視力低下、長時間の使用による姿勢悪化や就寝直前の使用による睡眠への影響が心配。

☒ 学校からのメッセージ・今後の対応

6年生では、契約スマホの利用率が約半数（46.4%）に達し、ゲーム利用率は96.4%と、最高学年として生活の中に電子機器が深く浸透している実態が窺えます。

特に「学校持ち帰りタブレットの家庭での使い方」「ルールの形骸化や時間オーバー」「友達の端末の貸し借り」「デジタル以外で過ごす自律性」「視力・睡眠等の健康影響」など、中学校進学を目前に控えた最高学年ならではの具体的で切実な課題が寄せられました。学校におきましても、持ち帰り端末の適切な学習利用の指導をはじめ、ネットリテラシー・適切な生活習慣の指導を徹底してまいります。各ご家庭におかれましても、今回の集計結果や具体的な対策事例（リビング限定使用・自動ロックアプリの活用・親の中身確認等）を参考に、お子さまと改めてルールや中学生に向けた端末との付き合い方を話し合う機会を持っていただければ幸いです。ご回答いただき誠にありがとうございました。